

事業評価票（監査結果に基づき見直しを図る事業）

3	バリアフリールートの設定及び案内の促進 (港湾局東京港管理事務所)	監査実施年度	平成 27 年度
		監査種別	行政監査
指摘・意見等の概要	<ul style="list-style-type: none"> 福祉のまちづくり条例に基づき、各海上公園のバリアフリールートの設定や、段差等の解消など、バリアフリー化を促進している。 一方で、園路の勾配や点字ブロックの有無など、福祉のまちづくり条例における施設整備マニュアルに適合しない施設が、まだ複数存在している。 これらについて、公園の特性や位置づけに応じたバリアフリー化の促進が望まれる。 		
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> 園路の縦断勾配や階段部と点字ブロックの有無など、福祉のまちづくり条例での施設整備マニュアルに適合しない施設が複数確認されている。 高齢者・障害者等の移動上及び施設利用上の利便性や安全性の向上を図るため、東京2020大会会場以外の既存施設のバリアフリー状況等の現況調査及び検討を行う。 	29年度見積額	
		19,400 千円	
		28年度予算額	
		- 千円	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 指摘を受け、海上公園の状況を踏まえたバリアフリー化を促進するものとして必要性が認められるため、見積額のとおり計上する。 	○妥当	
		見直し	
		その他	
		29年度予算額	19,400 千円

○監査事務局	<ul style="list-style-type: none"> 海上公園の既存施設を現況調査することは、バリアフリー化を促進するよう意見・要望した趣旨に沿った取組である。 なお、今後は、バリアフリールートの設定状況を確認することで、意見・要望に整合した改善措置が図られているか判断する。 	整合
行革推進部		不整合
		○その他

4	中央図書館における所蔵資料のデジタル化 (教育庁中央図書館)	監査実施年度	平成 27 年度
		監査種別	定例監査
指摘・意見等の概要	<ul style="list-style-type: none"> 東京関係資料のデジタル化の目的や基本方針を定めた上で、適切なプロセスを経て組織的にデジタル化する資料を選定するべきである。 貴重資料や劣化損傷が著しいものについて、閲覧による資料の劣化損傷の防止を図るため、デジタル化したデータを館内で閲覧の用に供されるべきである。 		
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> 監査結果に基づき、基本方針を定め組織的に資料選定を行い、デジタル化したデータを平成28年3月19日から館内で閲覧できるサービスを開始した。 デジタル化した資料を「TOKYOアーカイブ」に登載するため、データファイルの登載可能容量を1.8TBから2.2TBに増やした。 	29年度見積額	
		169,342 千円	
		28年度予算額	
		170,623 千円	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 指摘を受け、適切に資料選定・デジタル化を図っていることから、局見積額のとおり計上する。 	○妥当	
		見直し	
		その他	
		29年度予算額	169,342 千円

○監査事務局	<ul style="list-style-type: none"> 組織的に資料選定を行い、デジタル化したデータを館内で閲覧できるようにしたこと及び、「TOKYOアーカイブ」でデータを公開していることから、平成28年12月に公表した改善措置済の内容と整合している。 	○整合
行革推進部		不整合
		その他